

平成20年 第2回 築上町議会定例会会議録（第4日）

平成20年6月13日（金曜日）

議事日程（第4号）

平成20年6月13日 午前10時00分開議

日程第1 一般質問

本日の会議に付した事件

日程第1 一般質問

出席議員（18名）

1番	首藤 萬壽美君	2番	塩田 文男君
3番	工藤 久司君	4番	塩田 昌生君
5番	田原 宗憲君	6番	丸山 年弘君
7番	西畑イツミ君	8番	西口 周治君
9番	有永 義正君	10番	田村 兼光君
11番	成吉 暲奎君	12番	吉元 成一君
14番	武道 修司君	15番	平野 力範君
16番	中島 英夫君	18番	田原 親君
19番	信田 博見君	20番	宮下 久雄君

欠席議員（2名）

13番	岡田 信英君	17番	繁永 隆治君
-----	--------	-----	--------

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長	江本 偉久雄君	主査	西畑 弥生君
----	---------	----	--------

説明のため出席した者の職氏名

町長	.....	新川 久三君	副町長	.....	八野 紘海君
----	-------	--------	-----	-------	--------

会計管理者 .....	田原基代孝君	総務課長 .....	吉留 正敏君
教育長 .....	神 宗紀君	財政課長 .....	渡邊 義治君
企画振興課長 .....	加来 篤君	人権課長 .....	平岡 司君
住民課長 .....	遠久 隆生君	税務課長 .....	椎野 義寛君
福祉課長 .....	吉留 久雄君	建設課長 .....	内丸 好明君
上水道課長 .....	中嶋 澄廣君	下水道課長 .....	久保 澄雄君
会計課長 .....	川崎 道雄君	総合管理課長 .....	落合 泰平君
商工課長 .....	竹本 正君	環境課長 .....	出口 秀人君
農委事務局長 .....	後田 幸政君	学校教育課長 .....	中村 一治君
生涯学習課長 .....	吉田 一三君	監査室長 .....	吉留 康次君
審議官 .....	西村 好文君	審議官 .....	白川 義雄君

質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
西畑イツミ	1．温暖化対策について	町としての具体的なCO <sub>2</sub> 削減の取り組みについて
	2．水害対策について	椎田漁港防波堤扉の取り付けの考えは。
工藤 久司	1．災害に対する計画について	町が管理する学校・橋・公共施設等の耐震状況、災害に対する計画は。
	2．中学生の登下校の状況について	登下校時のマナー等が悪いと聞くし、しばし見かけるが学校での指導は。
平野 力範	1．学校給食の安全性について	地場産の農産物の使用状況と学校給食における食品全般の安全性はどう確認しているか。 また、公表はしないのか。 学校間の給食のあり方はどう違うのか。
	2．人材資源の活用方法について	旧椎田町時代にあった人材バンク制度はどうなったのか。 ボランティア的に活動したい人はいるので活躍の場をつくるべきではないか。

午前10時00分開議

議長（成吉 暲奎君） 皆さん、おはようございます。ただいまの出席議員は18名です。定足数に達しておりますので、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

#### 日程第1 一般質問

議長（成吉 暲奎君） 日程1、一般質問です。

これより順番に発言を許します。

発言は、きのうの続きの議員からといたします。

それでは8番目に、7番、西畑イツミ議員。

議員（7番 西畑イツミ君） 通告に基づきまして質問をいたします。

初めに、温暖化対策についてですが、町としての具体的なCO<sub>2</sub>削減の取り組みについて質問をいたします。

このまま地球温暖化が進行していけば、30年後、2040年前後には地球の生態系が破壊され、人類社会が持続可能ではなくなると言われております。昨年、北九州では、光化学スモッグの注意報が発令されて、突然小学校の運動会が中止になりました。また、熱中症にかかる人も急激に増加して社会問題になっております。

今、地球温暖化への関心が高まっております。買い物をするときはマイバッグを持参するとか、テレビを見ないときはコンセントからコードを抜くとか、電気を小まめに消すとか、ばら売り、はかり売りを利用するなど、個人でエコを取り入れ実行している人もたくさんふえております。

そこで、庁舎外にネットを張っておりますが、私はこれはハトが寄りつくのでこういうことをするのかな、でもおかしいなというふうに思っておりましたら、西日が当たって室温が高くなるので涼しくなるようにということで、ニガウリとかアサガオを植えているというふうなことを聞きました。今後、町内にこの壁面緑化のモデル施設をふやしていく考えがあるのかお尋ねいたします。

議長（成吉 暲奎君） 担当課長。

財政課長（渡邊 義治君） 財政、渡邊です。ちょっと一般質問の準備してなかったですけど、本庁舎に限って申し上げますと、今、緑のカーテンと言われるように、ゴ-ヤ、アサガオ等、植栽しております。そもそも発想は、本庁の空調機がよくなって、平成16年ぐらいに1基取りかえていると思うんですけども、その後も余り機能がよくないといいますが、能力が弱いということもあって、夏の冷房効果が非常に、特に午後からは南側の方がクーラーがきかないというふうなことで、毎年いろいろ悩んでおったわけですけども、少しでも冷房効果を高めるためにと

というような発想から、職員の中で考えて、こういう方法もあるのではないかとということで、一応どれぐらいの効果があるかわかりませんが、ことしましやってみようと、施行してみようということでした。

まあ、CO<sub>2</sub>削減、温暖化防止というのは、その先のものであるとは思いますが、まずそういうようなところで、できるところからやって実証効果が得られましたら、公共施設、特に学校なんかはもう自主的に行っているところもあるみたいですが、そういったところには広げていってもいいのではないかなと思います。一般の方には、まずこれを行っているのを見ていただいて、どのような評価があるのか、そこのところも含めて検証して普及といいますか、そういったことをやっていければいいのではないかなというふうには考えております。

議長（成吉 暲奎君） 西畑議員。

議員（7番 西畑イツミ君） きのう信田議員も一般質問の中で、緑のカーテンをつくろうとして大変いいことだというふうに言われておりますので、これは全国いろんなところで、この緑の壁面緑化に取り組んで実績が上がっております。ぜひこの効果がわかったら広げたいということです。是非取り組んでいただきたいと思います。

また、テレビで言われておりましたが、午前10時になったら、一斉にその商店街がお風呂の残り湯とかを利用して水まきをすることによって道路の温度を下げたというようなことも報道されておりましたので、いろんな方法があると思いますが、ぜひ取り組んでいただきたいと思います。

次の質問に入ります。

水害対策について、椎田漁港の防波堤に扉を取りつけてもらいたいという質問を書いております。

ことは台風の通り道ができたのか、よく太平洋側に台風が何回も通っております。昨年の台風では、築上町も大きな被害がなかったものの、あしや流木などの漂流物が漁港や海岸にたくさん打ち上げられて大変でした。議員の皆さんもたくさん現地を見られて対策をとらないといけないうふうに思われたと思います。また、町長以下、職員の方も、あの現状を見られて、これは何とかしないとけないなというふうに思っていたらと思います。

ことしも、温暖化による海面上昇と集中豪雨や台風などの被害が考えられております。防波堤のかさ上げをしてほしいというのが漁港近くの住民の願いです。防波堤のかさ上げと扉の取り付けをしてもらいたいと思いますが、町長はどのようにお考えでしょうか。

議長（成吉 暲奎君） 新川町長。

町長（新川 久三君） これは台風時、海岸線越波するところがたくさんございます。この海岸の中で、管理が大体県の海岸と、県でも土木事務所管轄の海岸、それから農林事務所の管轄の海

岸、そして町の管轄の海岸ということで、農林事務所は2カ所、別途の海岸がございます。干拓海岸は農林事務所の農地整備課、それから浜宮から宇留津までの間は森林土木といひまして、林務部の関係になりますけど、いわゆる防風林の関係の堤防という形、そしてあと残りが町の海岸というのが漁港海岸ということで、漁港の海岸は町が管理をしなければということで、質問のところについては、これは本当に台風の際には越波が激しいということでございますけれども、なかなかやっぱり財政的な問題とか、今まで少し越波しておったけど、皆さん我慢していただいていたという状況もあるようでございます。そういう形で、非常に台風時に危ないところが今2カ所ほど想定されております。議員仰せの椎田漁港の今の物揚げ場のところから前の旧市場、その間の堤防がやっぱり低うございます。これを改修するという形になれば、大工事になって、今県の方にも若干打ち合わせはしているけど、なかなか進展しないというのが現状でございます。

それと、もう一つは、町の河川、尾園川がございますが、尾園川の下流、椎田保育園のところから下流でございますけれども、ここも台風時にいつも浸水しそうな形で避難勧告をしているという状況でございます。

それからまた、満潮と大雨が重なったときに水がはけ切らないという場所が相当数ございます。例えば高杉団地のところの河川、それから八田の方も、これははけ切らないということで、宇留津の小学校のあたりですね。それからあと、一応台風時に河川でも危ないところがまだ大分把握している。坂本の橋のところ、あそこも少し河床が高くて水が越えそうになると思われる。それから真如寺川、これについても非常に堤防を越えるおそれのあるときもあるということでございます。

一時は、ちょうど椎田と湊の間、吾妻橋という橋がありますが、あそこに危険水位の観測地点ございますが、これが危険水位に到達したということもございます。この災害予防という形になれば、非常に補助率も低いし、災害が本当発生してからという形になれば補助率高いのにそうはいかないということで、やはり被害の起らないような形で、人命をまず第一順位といたしまして、今までは避難勧告という勧告はしたことは本町にとってはないわけでございますけど、これは危ないということで、湊の漁業者の方が1名、台風時に船の点検に行きよって高波にさらわれて亡くなったという事例がございますので、避難勧告という形で避難を町の方でこれは勧告をしながらしてもらおうという、今そういう災害の起きそうなときはということで、今2カ所、椎田保育園の下流の皆さんと、湊の漁協付近の皆さんには、この台風時には必ず勧告をしていると。大潮と満潮と、それから台風が重なると、こういうときには、そういう措置でやっておりますし、堤防の改修という形については、やりたいのはやまやまでございますけれども、財政的な問題、それから国の当然補助をもらわなければならないということで、念頭に置きながら県、国との打ち合わせはしてまいっていきたくて、このように考えております。

議長（成吉 暲奎君） 西畑議員。

議員（7番 西畑イツミ君） 大変なお金がかかることはわかっておりますが、毎回毎回、椎田漁港のあの周辺の方、特に船だまりのところにある住宅の方は、もう早くから避難をしているような状態で、毎回公民館に行くのも気の毒だということで、去年の台風のときは知人の家へ早くから避難している、帰ってきてびっくりしたというようなことでしたので、やはり避難をすることとは、いろいろな物を持って出ていかないといけないということで大変な思いをしますもので、大変なこととは思いますが、財政難の折 思いますが、行橋市は十数年前の大水害の後に長峽川の堤防をかさ上げをしておりますよね。だからそういうできているところもありますので、本町も県や国に働きかけをして、被害が出る前にぜひ実現できるように努力をしていただきたいと思います。

なかなか大変だというふうに今町長は言われておりますが、避難勧告は当然必要ですけど、その前に安心して住めるようにするのが、やはり町長の責務だと思いますので、ぜひ努力をしていただきたいと思います。

議長（成吉 暲奎君） 新川町長。

町長（新川 久三君） 行橋の長峽は県の河川でございます。これは県営事業でやったわけでございます。あそこはちょうど漁港区域になって、町の管轄で町が事業主体でやらなきゃならん形になるんです。町も漁港を今4つ抱えてあります。西角田漁港、それから椎田漁港、八田の方は一応今改修をやっておりますけど、それと西八田漁港ということで、非常に満潮時、台風と重なれば全部越波をやっていているという状況がございます。そのこのところ、今まで、ここ最近そういうふうな形で亡くなったから、やはり人命尊重という感覚の中で、町の方から、これはもう勧告をやるべきだろうということで、消防団との協議の中で避難勧告を4年ぐらい前からやるようにしたわけでございます。それまで全部自主避難ということでやっていましたけど、やっぱり人命尊重ということで勧告をやるうということ、そういう、先ほどのちょっと計画は今すぐというわけにはいきませんが、当然やはり堤防のかさ上げはやるべきだろうと思っておりますし、できれば本来なら家を建てるとき、もう少し今後は埋め土を高くやってもらおうとか、そういうひとつの手だてもぜひ住民の皆さんにもお願いをしていかなきゃいかんのかなと思っております。

非常にやっぱり道路も低うございますし、今住宅地も道路と同じような高さでございますので、道路だけの冠水という形になれば、そのうち引いてもらえるとという形になるけれども、どうしても現状が道路と宅地の高さが一緒という形になれば、宅地の中に入って床下浸水という状況も、本当先ごろの台風では、あしがいっぱい流れ込んで家の中にも相当入ったと思っておりますけど、そういうことは極力起こらないような形での対策はちょっと長くはかかると思いますが、当然

やらなきゃならん問題だと思っていますので、御理解を願いたいと思います。

議長（成吉 暲奎君） 西畑議員。

議員（7番 西畑イツミ君） 長くかかって対策はとっていただけるということで、多分地元の人たちは町長が取り組んでくれるというふうには思うと思います。というのが、本当に道でありながら、水が流れ 私初めて見ましたけど、道は高いところから低い方へ流れるというふうには思っていたんですけど、海の方一気に、もうあらゆるところを通して、もう一瞬のうちに入っていくというのは、初めて去年見ました。だから近所の方は本当に恐ろしい思いをしたのではないかなというふうに思います。で、一気に流れることによって、トイレの汚物なんかも一緒にもうぱっと上がってくるものですから、衛生面とかいうのもありますので、やはり大変だとは思いますが、国県に働きかけてぜひ実現できるようにしていただきたいと思います。

これで私の一般質問を終わります。

議長（成吉 暲奎君） 御苦労さんでございました。

.....  
議長（成吉 暲奎君） それでは次に、9番目に3番、工藤久司議員。

議員（3番 工藤 久司君） それでは、通告に基づきまして一般質問をさせていただきます。

きのう吉元議員、今西畑議員が災害についての質問をしました。きのうの吉元議員の質問と重複するところがあります。というのが、災害が来る前にしっかりとした計画を立てて最小限に食い止めるといふ観点のもとで質問をさせていただきます。

まず、町が管理する学校・橋・施設等の耐震の状況です。

中国大地震が起こりました。学校関係等が崩壊して何千人という尊い命がなくなっております。で、今回の予算の中に学校関係の耐震の工事予算が入っていたと思いますので、学校関係に関してはそういう形で対応をされているんだらうなと思いますが、例えば避難所がきのうの課長答弁の68カ所と、この68カ所の耐震の状況というのは実際どうなのか、そのあたり、68カ所全部耐震を満たしているのか、そのあたり、まずお聞かせ願いたいと思います。

議長（成吉 暲奎君） 新川町長。

町長（新川 久三君） 耐震状況ということで、建築基準法が改正されたのがたしか57、8年ごろと。それ以降に建ったのは一応耐震の基準にかなっておるということを知っておりますし、それで今、公共施設は大きい避難場所といいますが、これでかなっているのは、私広報でも書きましたけれども、6月号の広報で、椎田小学校の校舎、それから講堂、これは耐震にかなっております。それから、当然椎田中学校の体育館も最近建ったばかりでございますのでかなっている。それからあと、築城小学校の校舎、これは一応調査をしてかなって、補強も済んでいるということでございます。



それからあと、今回予算にお願いしているのが八津田小学校と、それから下城井小学校の調査をやってみようということで、かなっているかどうか。かなってなければ補強工事を行わなければならないというようなことで、基本的には昭和57年に建築基準法が改正されて、それ以降の分は多分かなっておると。大きい建物は一応それぐらいでございますかね。中央公民館あたりは、当然まだこれはかなってないんじゃないかなと思いますけれども、とにかくやっぱり学校施設をまず手始めにこういう調査をやりながら補強をしていくと。

幸いにも、この築上町の地下には活断層というものがないというようなことで、活断層は福岡市のあたりと、それから若松の向こうに何かあるらしいんです。それからもう一つは、国東半島も向こう側ですか、杵築の方に活断層がある。そこで地震が起これば、やはり福岡西方沖地震のような形で、ここもやっぱり震度3、4ぐらいは、強ければ4ぐらいはあるのではなかろうかなという想定をしておかなきゃいかんし、やはり地震対策も、避難場所をちゃんと確保するという形が必要ではなかろうかなと考えておりますので、特にやっぱり学校施設を重点的にそういう形でまず手始めに整備していこうというふうに考えております。

議長（成吉 暲奎君） 工藤議員。

議員（3番 工藤 久司君） 今、町長の答弁では、学校施設を、それは当然のことだと思いますし、地震に限らず、今いろんな災害というのが、本当に予想もつかないような災害というのが町にも最近多いわけです。

先ほど西畑議員の質問にもありましたが、避難所と言われていところに避難をしても、例えばそれが活断層がないからとかいう論理ではなくて、その避難所が耐震になってなければ、避難をしたところがまた崩壊をするなんていうようなことが起こり得るわけです。ですから、最初は学校関係から調査をして、いずれそういう68カ所の施設、避難所として町が指定している施設を徐々にというか、早急にやっぱやらないと大変なことになるのではないかなということです。

で、前もこれ系の質問はさせていただいたんですが、お金がかかることばかりではなくて、できることというのはやっぱりあると思うんですが、例えば災害に対する意識を町民の方、また役場職員の方も高めてもらうために、2回ぐらい言いましたけれども、防災訓練というのはお金がかからないでできると思うんです。で、それをすることによって、どんな効果があらわれるのかというのがやってみなければわかりませんが、そういう形でやるのが一つの意識を高める一番の近道というか、早いのではないかなと思うんですが、そのあたりの計画について、あればお聞かせ願いたいと思うんですが。

議長（成吉 暲奎君） 新川町長。

町長（新川 久三君） 一応消防団と協議をしているけど、なかなかやっぱり難しい面があって実現できていないということもございます。やはり防災訓練になれば、基本はやっぱり消防団と

いう形になろうと思いますので、そして訓練という形になれば、モデルの地区を定めてやらなければいけないという形になろうし、非常にやっぱり困難なところもあるし、そのところをちょっと協議をしながら自治会、それから消防団という形の中で皆さんに御協力を願わなければならないというふうになりますので、今後ちょっと協議の対象とはしてまいりたいと思っております。

議長（成吉 暲奎君） 工藤議員。

議員（3番 工藤 久司君） いきなり消防団とか、町長、大きく考えなくて、例えば役場で防災訓練というのはできると思うんです。どこかをモデル地区にして消防団が出てどうのこうのとか、消防が出てというような形ではなくて、例えば何かを想定して役場の職員がそういう、指示命令系統もあるでしょうし、そういう形で対応をして、いざこういう地震のために役場の中での対応をまずするという事で職員の意識を高めるということ、またそれが対外的にアピールになり、町民の意識向上にもつながってくるのではないかなと思うんです。余り最初から大きく考えなくても、できることというのはやっぱりあると思うんで、もう一度そのあたり、役場の中だけで最初いいじゃないですか、職員。また、それに対するちゃんとした役場の中での防災の指令所みたいなのがやっぱりあると思うんです。町長がトップでこうこうこういう形でと。それに従ってやって、それが先々、今町長が言われるように消防団を巻き込み、また地域の人を巻き込むような訓練になっていくことが、お金もかからなくて地域住民の安全確保にもつながるということであれば非常にいいことだと思うので、まず役場の中でやることをやっていってほしいなという思いですが、そのあたりはどうでしょうか。

議長（成吉 暲奎君） 新川町長。

町長（新川 久三君） その形であれば、常に防災体制というのは敷いておりますし、特に毎年大雨のとき、それから台風シーズン、これについては全職員が一丸となって、いわゆる防災体制、指揮監督のもとに、ちゃんと災害対策本部を設けてましてやっていると思っております。というのは班分けをやって、総務班、それから救護班、それから調査班という形で、それぞれの役割を分担しながら、台風時、避難が出たときにはやはり炊き出しをすとか、そういうのは全部町職員でやっておりますし、そしてあと調査、それから総務という取りまとめという形の中では、これは私はもうある程度、今までの大雨、それから台風、この分については十分機能しているのではないかなと思っております。

地震に対する訓練というのはございませんけれども、台風、それから長雨、大雨、いわゆる非常に一応配備体制をちゃんと第1配備、第2配備、第3配備ということで、毎年これはそういう出動命令をしておりますので、十分私はできているというふうに認識をしているところでございます。

議長（成吉 暲奎君） 工藤議員。

議員（3番 工藤 久司君） それは町長も台風が来て災害が起こり得るという予想がつけば、当然それはすることが当たり前なんです。そうではなくて、今こういう、これからどういう台風が来るかわからない、災害が来るかわからないという中で、それが災害というのが、うちの町は特に水害が多いかもしれませんが、地震を想定した訓練を庁舎でしたということが、いろんな面の災害に対しての意識づけというか、職員プラス町民に対しての意識づけになるのではないかなという提案です。

今、町長が言われた水害に対しての指示命令はできているだろうと言うけれども、実際に公民館がまだあいていないとか、去年もたしかあったと思います。で、どうなっているのかということで、まだそこらあたりは本当にきちっと組織が確立されているのかというと、私はどうかというクエスチョンがあります。ですから、それは災害に対する意識が低いのか、指示命令系統がしっかりしていないのか、いろいろ事情というか、状況があるんでしょうけど、ですから、先ほど西畑議員の質問にもありましたが、そういう避難勧告をしなければ状況によたらいけない地域もあるわけですから、そういう地域の人たちを不安がらせないためにも、しっかりしたそういう計画を立ててやっていくことが必要ではないかなと思います。

つけ加えさせていただいたら、その水害、災害に対してのできているのではないかなというのは、それはまだまだだと町長思っておった方がいいと思います。いろんなことを想定してしなければいけないと思うんで、そこら辺はもう一度シーズンが来る前にきちっと計画なりを見直してやるべきだろうと私は思いますが、どうでしょう。

議長（成吉 暲奎君） 新川町長。

町長（新川 久三君） 万全にこしたことはないんで、各課徹底した形での連絡体制はとっていいこうと考えております。

議長（成吉 暲奎君） 工藤議員。

議員（3番 工藤 久司君） ぜひそうしていただいて、防災に対する認識を少しでも高めていただきたいと思います。

それと、もう一点、防災マップというのをたしか何年か前に各家庭に配ったと思うんですが、もう一度それも課長見直して、きのうですか、おとといですか、九重町で土砂崩れがあってとか、あれも何か急傾斜なんか、危険何とか地域とかというのがあって角度が30度で5メートル以上の高さがあったらというようなのがテレビでちょっと見たので、そういう箇所の点検をいま一度きちっと、危険箇所ですか、というのもした方がいいと思いますが、そのあたりの計画だけ。

議長（成吉 暲奎君） 新川町長。

町長（新川 久三君） 御指摘の防災マップ、これを合併してまだつくっていないと。築城町、

それから椎田町の部分はあっても。これを一括した形で、もう一回見直しをやろうということで、先般の6月3日の日に防災会議をやりました。そこで一応つくるということを担当の方から申し出ておりますので、もう今年中にはハザードマップといいますが、これをつくり上げる予定に もうつくっているということでございますので、そういうことで。

議長（成吉 暲奎君） 総務課長。

総務課長（吉留 正敏君） 総務課の吉留です。ただいまの町長の答弁につきまして、ちょっと補足説明させていただきたいと思います。

防災マップにつきましては、築上町としてのマップはございます。ただし、土石流と急傾斜地の危険箇所を掲載しているわけですが、これはまだ完全なものではございません。そういうことで、今年度の防災会議におきまして、できるだけ早く、もう一度見直しをして、新たにつくり直すという予定をしております。

以上です。

議長（成吉 暲奎君） 工藤議員。

議員（3番 工藤 久司君） できているということですが、なかなかそのあたりをきちっと周知されていないというのが現状ではないかなと思います。もう少しやっぱり住民の方々にそのあたりの認識をさせるという意味でも、先ほどのまず役場でいろんな災害を想定した訓練をするのも一つの防災マップをしっかりと目を通すとかということにつながるのではないかなと思いますので、そのあたりをもう一度担当課でもいいですし、しっかり考えて計画していただきたいと思います。

それでは、次の質問に行きますが、これも私も時々見かけますし 中学生の登下校の状況についてです。皆さんも見かけていると思いますし、実際にそういうマナーの悪さというのを耳にもしますので、ちょっと質問をさせていただきます。

当然学校では指導をしていると思いますし、PTAの方々とか議員さんでも正門に立って朝の声かけ運動、またそういう登校時の指導というのはしていると思います。しかし、きのうも教育長の答弁であったように、下校時が非常に難点ですか、野放しというか、誰も監視というか監視としたらあれでしょうけど、というような状況だと思うんです。ですから、そのあたり、きのうも教育長がうちの町では不審者の件もありますが、下校時の対策に関しては、きのうの信田議員の質問に関しても答弁がありませんでしたので、登校時は今いろいろ正門に立ったり、いろいろ交差点に立ったり、交通指導員の方も時々立ったりしていただいておりますが、下校住民の対策を何か考えているのか、そのあたりの計画があれば答弁をお願いいたします。

議長（成吉 暲奎君） 教育長。

教育長（神 宗紀君） 御指摘のとおり、今もう中学生に限らず高校生もなんですけれども、自転車通行のマナーの悪さ、これはもう自転車に限らず、規範意識の低下というのは、もうこれ

全国的な傾向で、非常に頭の痛い問題だと思っています。で、私自身、自分の経験で、豊津高校におったときに、6年間生活指導に従事して一番頭が痛かったのが、実はこの高校生の自転車通行の指導でした。豊津は坂が多い、道が狭い。それでもうしょっちゅう一般の人から苦情の電話がかかってきます。言っても言うことを聞かないと。2列になっている3列になっている。これをどうしたらいいのかということで、学校で全校集会をして注意を呼びかけますけれども、なかなかこちらが思うように生徒がやっぱり従わないというか。これはやっぱりその自転車の通行について、もう地域全体というか、大人の世界も私は甘いのではないかと、そういうふうには思っています。

で、今、下校時の指導についての御質問ですけれども、中学校の場合は部活指導がありまして、先生たちは授業の後、今度は部活指導に従事するという先生もかなりおいでます。そういう中で、学校全体を上げての毎日の指導というのは非常に難しい面があるかと思えます。だからそういうときになると、今度はボランティア活動の方をお願いをするとかというような手だても考えられるかなというようなことを今思っていますけれども、これは毎年定例の校長会がありますので、校長会に投げかけて、その辺の指導のあり方について御相談を申し上げたいと思います。

議長（成吉 暲奎君） 工藤議員。

議員（3番 工藤 久司君） こういう質問をしたのは、実際に2列3列当たり前と。クラクションを鳴らせばよけるけれども、通りすがりに中学生から罵声を浴びされるみたいな話も聞いております。ですから、何と云うんですか、前も何かこんな話をしたと思うんですけれども、例えば今、子供110番の家とか、きのうも塩田議員が言ったステッカーを張るとか、前回の質問の中でも豊前市あたりは下校時でも老人会かどうかわかりません、ボランティア活動の方々にいるんなところに立っていただいて、豊前市だけじゃないでしょうけど、そういう下校時でも取り組みをしているわけです。

今教育長がボランティア団体に下校時のという考えもあるようですけれども、もう現実にやっているところもあるわけですから、もうどんどん積極的にそういう形ですることが、きのうの質問でもあったそういう被害、交通事故の被害、それと不審者からの被害を抑制するという例も上がっておりますので、もっともっと積極的にそのあたりはしていただきたい。そうしないと、いろいろ事件が起こってからでは遅いですし、総合計画は子供たちの命を守るという名題もありますので、それに向かってもっともっと努力もしていただきたいし、私ども当然なんです、声かけしながらやっていかなければいけないという思いなんです、もう少しステッカーを活用したりとか子供110番のもう一度見直しとか、あれも何か色があせているようなステッカーを張っているところもあるようですし、もう少しそのあたりをきちっとしていただきたいと思いますが、どうでしょう。

議長（成吉 暲奎君） 教育長。

教育長（神 宗紀君） 今の御意見もまた参考にさせていただいて、先ほど申し上げました校長あたりにも相談をし、考えていきたいというふうに思います。

一番効果的だったのは、自分の経験で言いますと、これは、厳密に言うと何か違反らしいんですけど、私は車のボンネットの中にマイクを置いておまして、2列の高校生がおったら、「その高校生、1列になりなさい」と言ったら、これは物すごい効果がありました。一般の人も従ってくれておりました。ただ、皆きょろきょろして、どこにパトカーがおるかといって探しておりましたけど、僕はそういうことをしておりました。これはちょっと勧められませんが、そういうような方法も実はあることはあるんです。しかし、何とかいい方法を考えて、もう少し積極的にというのを考えたいと思います。

議長（成吉 暲奎君） 工藤議員。

議員（3番 工藤 久司君） そんないいアイデアがあるなら、地域の方々に協力をしてもらうとか、ステッカーを張るといのは、済みません、どこか忘れたんですけど、それを本当に走らせることで、本当不審者の対策になったという、減ったという例もあります。で、今言うように、去年ですかね、おととしぐらいの豊津高校で築城の生徒が事故で亡くなっているじゃないですか。あれもやっぱり悲惨だったですよ。いろいろその内容はよくわかりませんが、やっぱりあれも下校時だったと記憶しております。

ですから、我が町でも中学校に限らず、そういういろんな面の事故を抑制する努力をしていただきたいなと思いますので、よろしく願いいたします。

以上で終わります。

議長（成吉 暲奎君） 御苦労さんでございました。

.....

議長（成吉 暲奎君） それでは、最後になりますが、10番目に15番、平野力範議員。

議員（15番 平野 力範君） ラストバッターということで、前回に続きラストバッターということですが、まず教育長の方に質問をさせていただきます。

大変長らくお待たせしまして、前回から質問通告をしていました問題で、2議会にわたってのお待たせをいたしました。学校給食の安全性についてということで質問をさせていただいております。

この問題は、旧椎田町時代に私が質問したことがあります。合併して築上町になって地区も広がり、食に関する意識も統一されているのか、その辺の確認の意味もあり質問をさせていただきます。

まず、ちょっとわき道から行きますけど、学校給食の安全性とともに学校給食費の値上げが各

地で新聞等で問題になっています。いろんな食品、例えば小麦、大豆、トウモロコシを中心に、あらゆる加工品が次々に値上げされ、結果、品質を落としてでも安いものに飛びつかざるを得ないというようなことになりかねないんですが、今学校給食の現場からの声はどういう声が聞こえてくるのか、この値段ではやっていけないのではないかとか、一品減らそうとかいうような声はないのか、教育長でも教育課長でもよろしいので、その辺、そういう声を聞いているなら、ぜひお聞かせ願いたいと思います。

議長（成吉 暲奎君） 学校教育課長。

学校教育課長（中村 一治君） 学校教育課の中村です。今の件につきまして、学校給食費の件だと思います。

先日、2月の時点でいろんなものが物資が上がるということで、私の方も調査しました。それで、4月の段階で4月の学校給食費につきまして調査した結果、半数の学校で給食費を若干上げさせてもらっております。というのが、麦類もパン類も上がりまして、またガソリン等も燃料費等も上がりましたので、半数の学校で200円から500円程度、毎月給食費を上げております。それは、給食の中身を下げないということで、そういうことで学校で取り組んでおります。

以上です。

議長（成吉 暲奎君） 平野議員。

議員（15番 平野 力範君） 内容は下げないということで値上げに踏み切ったということで、PTAの方も了解されての値上げだと思いますが、そういうふうに、よそではもう新聞等によりますと値段を上げられないと、未納も多いので値段を上げられないので、切り詰めていこうというような、内容を切り詰めていく学校が多々あるというような話も聞いております。当町ではそういうふうな内容に安全性にかかわることにもなりますので、そういうことのないように確認をお願いしたいと思います。

本題に戻りますが、安全性の問題について、中国産のギョーザの問題を初め、中国産の野菜、食品が問題になって久しいのですが、日本は中国政府に押し切られてしまったような格好で、あいまいなまま決着がついたというか、日本としては非常に疑問があると言いながら、中国政府は問題ないというようなことで、そのままになっていますが、学校給食の中でも中国製品、ギョーザ等を扱っているかどうか知りませんが、そういうのがあるのかどうか、食品の調達状況をお聞かせ願いたい。

また、学校間で椎田、築城、統合されてから、給食施設、前回見せてもらったら、築城の方の施設は非常に老朽化している状況がありましたので、学校間で給食施設、それから米飯の回数、地場産の野菜等の使用状況で差があれば、その辺もお聞かせ願いたいと思います。

議長（成吉 暲奎君） 教育課長。

学校教育課長（中村 一治君） 学校教育課の中村でございます。今の質問について、1月の中国産のギョーザの問題で、加工品につきましては、その時点で県より品目が公表されました。それに基づきまして、各学校へ連絡をとりましたところ、本町の学校給食には使用されていなかったということでございます、品目について。それ以降、1カ月間、各学校で申し合わせで中国産の食品を1カ月間使用を控えようということで統一をしまして学校の方に連絡をしたばかりでございます。それ以降、一つは、学校給食の値上がりした理由に、極力日本産の加工物を使おうということで、それも学校給食費の値上りの一つになっていることもあります。そういうことで、極力中国産の部分につきましても、安全が確認されるまでは使わないということでやっております。

加工品につきましては、福岡県の学校給食会というところから仕入れているわけでございます。その部分につきましては、給食会の方で実質検査としまして、細菌・異物等の検査、また化学検査機関に残留農薬、DNA等の検査も行って、安全だという品物について、その物資を購入しているということでございます。

それともう一つ、旧椎田町と築城町の学校の施設の関係でございますが、大まかには同じような施設でございます。ただ、食器洗浄機の関係で、築城地区には洗浄機がないということで、これもその都度、随意的に洗浄機をそろえていきたいと、そう思っております。

物資の関係でございますが、築上町になりまして、JAも豊築JAと、JAと一緒にございますので、JAからの仕入れの部分につきましては、各学校ともJAの方から仕入れております。また、加工品、その他につきましては、学校給食会からしております。ただし、米は椎田地区は「環」という有機米の米を使っております。築城地区は築城町でとれる米、「夢つくし」を学校給食会から仕入れております。

以上です。

議長（成吉 暲奎君） 平野議員。

議員（15番 平野 力範君） あと、さっきの質問の中で米飯の回数はどのようになっているのか、その辺もお聞かせ願いたいと思います。

議長（成吉 暲奎君） 教育課長。

学校教育課長（中村 一治君） 学校教育課の中村です。米飯の回数につきましては、昨年、八津田小学校を週5日米飯を実施しております。ことしに入りまして、米飯週5日を広めようということで、小原小学校、それから西角田小学校、上城井小学校、それと八津田小学校、4校を今の週5回の米飯給食を実施しているところでございます。

議長（成吉 暲奎君） 平野議員。

議員（15番 平野 力範君） 今、米飯の回数、4校が指定されているということですが、残



りは週3回ですね。

議長（成吉 暲奎君） 教育長。

教育長（神 宗紀君） ことし3校ふやしまして、八津田小学校と加えて4校ということにしました。そのふやした3校の内訳は、小原小学校、西角田小学校、上城井小学校と。何でこの学校になったのかと。児童数が少ないからです。というのはなぜか。それは余り大人数の小学校にパンをやめて米飯をした場合に、パン業者の生活権の問題がありまして、実はまだ契約が残っておりまして、契約違反をしながらの今米飯給食に広げると、そういう今形をとっております。だから、毎年、課長と私は学校給食会に誤りに行きます。了解を求めに行きます。ことしもまた行かないかんとっておりますけれども。

そういうことで、給食会の方も実はいい顔をしません、米飯給食については。しかし、私はこれもう信念を持ってやっておりますので、推し進めたいと思っております。

議長（成吉 暲奎君） 平野議員。

議員（15番 平野 力範君） 今、パン食を減らすということで、非常に学校給食会の抵抗があるということですが、最初に旧椎田町時代に地元産の米を使うということで、大変な抵抗に遭い、また努力をされて、やっとこさ地元産の米を使うことができるようになった。それまでは全量学校給食会を通じてしか入ってこない、安全性も確認されない、どこの米かわからないというような状況であったものを地場産の米を使うということに、その安全性を証明するために物すごい努力されて、やっとこさかち取ったということが、この間に県の教育委員会等も入ったと思いますし、もうそれは言葉にあらわせないほどの努力をされて、生産者及び行政が努力をされたという事実があります。

それで、さらに地場産の米を使うということで苦労されているようですが、先ほども学校給食会のデータということで、安全性の観点から、その資料をもらっているということですが、これはここに来ている、地元調達されている食材で確認されているのか、それとも通常一般的なデータであるのか、その辺もう一度確認をしたいと思います。

議長（成吉 暲奎君） 教育課長。

学校教育課長（中村 一治君） 学校教育課の中村です。今の検査につきましては、学校給食会からの調達の物資でございます。JAからの生野菜、野菜類につきましては、JAの方を信頼して購入しているところでございます。

議長（成吉 暲奎君） 平野議員。

議員（15番 平野 力範君） 聞いた意味がちょっと履き違いされているようですが、今のデータはいいんですけど、学校給食会のデータが、ここに調達されている食材のデータなのか、それとも学校給食会が一般に公表しているデータなのか、その辺を確認しておきます。

議長（成吉 暲奎君） 教育課長。

学校教育課長（中村 一治君） 済みませんでした。その分につきましては、学校給食会で確認した物資でございます。検査した物資でございます。（発言する者あり）それは、この検査したものではありません、やっぱり抜き打ち的にしている分だと。（発言する者あり）それに築上町で納める（発言する者あり）ちょっとわからなかった。

議長（成吉 暲奎君） 平野議員。

議員（15番 平野 力範君） 築上町に納入されている食品の安全性を確認されているのか、学校給食会が公表されているデータというのは、通常一般のデータではないのか、その辺を確認しているわけですよ。築上町に入っている食品を抜き打ちで検査されたのか、県全体の学校に納入するものを検査されたデータでは信用できないのではないかとっているんですよ。だからこの築上町に学校給食会を通じて納めているデータを、抜き打ちで検査したデータももらっているんですかという確認をしているんです。

議長（成吉 暲奎君） 教育課長。

学校教育課長（中村 一治君） 学校教育課長、中村です。ちょっと答えようがないんですけども、個別に私のところに入れる品物を、それを検査したわけではなくて、加工会社から入ったものを抜き打ち的に検査した結果だと思っています。

議長（成吉 暲奎君） 平野議員。

議員（15番 平野 力範君） それを確認したかっただけなんです。別にわかればいいんですよ。責めているわけじゃないんでね。

とにかく学校給食会のデータが本当に正しいのか、信用できるのかという部分は、私は非常に疑問があります。安全性の高いような食品、産地のものを抽出してデータをつくっている可能性もあります。だから、やっぱり学校給食会からの食品よりも、できる限り地元の食材を使用するのが顔も見えますし、農薬振りよったらわかります。そういうことができないような地元産をできる限り使用すべきでありますし、中国産に関しても、先ほど1カ月停止していると言うけど、その後また入ってきているんじゃないかなというような危惧があります。

これ食品の検査というのは大変な金が要るといっているのは聞いています。それ1点で1農薬に関して何万、何十万、じゃけ5つや10の農薬を検査するとなると100万円ぐらい金がかかるというような話も聞いていますので、なかなか町でやれといたってできない話だと思いますし、学校給食会に関しても、一般的な、全部細かくやりよったら莫大な金がかかわりますから、それ値段にかかってきますから、それできないと思いますけど、だったら、もう地元産でできる限りふやしていくというふうな顔の見える食材を提供すべきではないかと。その辺に関して、教育長、どうですか。

議長（成吉 暲奎君） 教育長。

教育長（神 宗紀君） 産業課の田村課長補佐なんかともよく話すんですけども、できるだけ地元の生産者に頑張ってもらって、地元の人々の生産者の顔が見える、そういうものを生徒に子供たちに食べさせたいというふうに思っています。

ただ、これ問題は、安定供給ができないという大きな欠点があります。だからどうしても学校給食会に頼らざるを得ないと。昨年は学校給食で使った地元産の野菜は15%程度です、まだ、それでも、これも県下では多い方ではないかというふうに思っています。

以上です。

議長（成吉 暲奎君） 平野議員。

議員（15番 平野 力範君） 地場産の野菜を15%使用するというので、こういうデータは、やっぱりできる限り皆さんにお知らせすべきじゃないかなと思います。

安全性に関して、前回質問をしたときのデータなんですが、小麦に関して、まだ使われているところが、大きな学校に関しては、皆小麦粉を使った製品、パン、それからパスタ等があると思います。前回は質問した内容ですけど、学校給食で使用される小麦粉の汚染度は、一般流通の小麦粉の6倍もの汚染された高濃度の小麦粉を使っているということで、何で6倍もの値段が安いからなんですよ。学校給食に使われるのは危険度の高い2等粉外麦が使用されると。これは2等粉小麦というのは、皮をはいた、外皮に近いところをはいで粉にしたやつが2等粉小麦ということで、これは外側ほど汚染濃度が高い、農薬が残っているということで、残留農薬が6倍ということで、普通の中心の部分の小麦粉に比べて安いけど農薬が多いということで、これが子供たちに提供されているということで前回も私は問題があると。学校給食会から安全性がどんだけごまかしても、ちゃんとデータを調べれば、小麦粉に関しては非常に危険な小麦粉を子供たちに食べさせているという現状があります。

できれば早急に 全く使うなということも もうすぐ契約が、1年、残りが。（「22年の3月」と呼ぶ者あり）22年の3月。契約が切れると同時に、そういう全校地元産米を使って、できる限り小麦粉を使わないというような給食に切りかえていってほしいと思いますけど、その辺も確認したいと思います。

議長（成吉 暲奎君） 教育課長。

学校教育課長（中村 一治君） 学校教育課の中村です。その前に、学校給食会の取り扱いにつきましては、今78%を県産の食材を使っているということです。その中で、パンにつきましては、県産の「みなみかおり」、それを50%配合した食パンを使っている。そして、うどんにつきましては、「ちくごいずみ」と「みなみかおり」を1対1を配合した麦で冷凍うどんをつくっているということで、そういう結果であります。

極力パンにつきましても、うどんにつきましても、福岡県産の材料を使った部分で、また学校給食会の方にも要望をしていきたいと、そう思っています。

議長（成吉 暲奎君） 平野議員。

議員（15番 平野 力範君） 極力県産米を使っているから安全な方向に行っているということですが、78%県産ということで、22%は外麦が入っているわけですね。やっぱり私がさっき確認したいのは22年3月で切れる、それから先は小麦粉は使わないで週5回米飯に切りかえていく方向なのかということを確認したかったんです。

議長（成吉 暲奎君） 教育長。

教育長（神 宗紀君） もう私は来年からでも本当はやりたいわけですけども、先ほど申し上げたような約束事がございますから、22年3月で契約が切れるところでスタートできるんじゃないかと、こういうふうに期待をしております。

で、米については、去年は検査をしておりますけれども、減農薬の米を生産していただいております。で、かなり生産者に負担を、甘えてしまっているということも実はあるんですけども、数値の低い安全な米を現在の椎田地区の子供には食べさせることはできているわけですが、築城の方は築城でとれた「夢つくし」を一度学校給食会に農協を通して納めて、それを飯塚で精米をしてまた持ってくるというようなことで、今現在取り扱っているようでございます。そんなことをしなくても地産地消で、地元で私は思うんですけども、そこ辺はなかなか難しい機構だなというふうに実は思っています。

以上です。

議長（成吉 暲奎君） 平野議員。

議員（15番 平野 力範君） 学校給食会は大きな組織ですので、いわばピンはね団体というような気がしてなりません。食品を大量に安定的にという部分では、そういう組織が必要なのもかもしれませんけど、学校給食会に頼らず、できる限り地場産の食品ということで努力していただきたいと思えます。

1番目の学校給食の安全性については、これで質問を終わらせていただきます。

次に、2番目に、人材活用の方法についてということで、続けて質問させていただきます。

旧椎田町時代にあった人材バンクセンターはどうなったのかということで、これ築城町にもこういう制度があったらいいんですが、今はどうなっているのか、副町長、わかれば答弁願いたいと思えます。

議長（成吉 暲奎君） 副町長。

副町長（八野 紘海君） 旧椎田の時代、昭和62、3年ごろですか、田原町長のときに高齢者人材登用制度という制度をつくっております。それについては、ソフト・ハード両面で高齢者の

方を登録していただいて保育園等の地域間交流事業、そして学校の特別科目授業ですか、そういうところに講師としてお願いをしたり、そして地域の清掃とか、ハードの部分はそういうことをお願いをして活用してありました。

そして、ただ、これがシルバー人材センターがその後に発足をして、その時点でハードがシルバーの方に移り、ソフトはその当時の地域間交流事業、保育園等でその当時の方をお願いをしていると思いますけども、ただ町としては、その制度は今現在要綱制度にはなくなっております。

以上です。

議長（成吉 暲奎君） 平野議員。

議員（15番 平野 力範君） 私が言いたいのは、シルバー人材センターができたからと、ほかにも人材派遣業でサンコーがありますが、そういうのは築上町は積極的に利用、また活用されていますが、金にならないでもボランティア的に役に立ちたいというのはおられるんです。それらの人々の貴重な善意を集めて何かできないか、できるんじゃないかなというふうな気がするんです。

例えば、ほかの人から聞いたんですけど、築上町はほかのまち、豊前等に比べて交通安全を指導されるボランティアの方の数が少ないというような声も聞きます。先ほど下校時の安全性という、交通安全の指導等にボランティアをお願いできたらというような教育長の発言もありました。そういうふうに、ボランティアでやられる人の意思が多く集まれば、善意が集まれば、そういうふうな方向にも活用できるんじゃないかなと。まず呼びかけてみたらどうかと思うんですが、これは副町長、ちょっと勉強されているんで。

議長（成吉 暲奎君） 副町長。

副町長（八野 紘海君） 副町長の八野です。感想としては、この制度は残しておきたいなと思っております。そして今、他市町村、今ホームページ等を私もよく見るんですけど、今この人材バンクはかなり復活しております。平均寿命女性85、男性80、そして団塊の世代が今から60歳定年で80年まで約20年間あります。その中でさまざまな分野で活躍等されている方がおられます。そういう方々が地元に戻っておられますので、そういういろんな分野で活躍している方々にいろんな行政、まちづくりに協力、応援してもらおうということで、各市町村が復活をしているところでございます。

そして、昨年度でしたか、白川審議官と、この制度について検討しようということで検討に入っております。そして5月ですか、福岡県知事の方で町長と副市町村長が集められまして、講演というか、今後の地方のあり方について講演があったわけですけど、その中の話で、この一市町村でフルセット主義というか、全部フルセットで賄うことができないだろうと。雇用・景観・医療等々については、やはり市町村がやっぱり連携ネットワークを持ってやっていかなければなら

ないだろうと。そして市町村が全部賄うことはできないという上で、今後官民協調といいますか、ボランティア、NPO法人ですか、今たくさん出てきておりますけど、そういう方々と連携をしながらまちづくりをやっていく必要があるのではなかろうかというような話がございました。

この話については、5日の日に東京出張したときに、国土交通省の総合政策局の話の中で、定住自立圏構想という話が出てきました。そういう同じような方向の話で、今後地方分権を進める上においては、やはりボランティア、NPO法人、そういう個々の方々をお願いをし、まちづくりをする必要があるのではなかろうかというような話が今、国県の流れになっておりますので、町の方もそういう方向といいますか、ことを今から検討して早急に要綱等をまとめたいと思っております。

以上です。

議長（成吉 暲奎君） 平野議員。

議員（15番 平野 力範君） 広域行政といいますか、小さな自治体の単位ではできないようなことがふえてきているというような今お話でした。

ボランティアの気持ちを持った人たちもふえてきていると思いますし、広域でいろんな観光事業とかいろんなことができると思いますが、まず地元で、そういう築上町の人材を集合して、そしてその人たちで何ができるのかというような検討を今始めたということですので、ぜひ積極的に早急にそれを進めていっていただきたいと思います。

これで質問を終わります。

議長（成吉 暲奎君） 新川町長。

町長（新川 久三君） 私に答えらせてくれなかったけ。

あのですね、今、社協の方でボランティアの管轄をしてボランティア協議会というのがございます。そこに加入したいという形になれば、町の方であっせんしながらそこで活動していただければ幸いではないかなと思っております。どうぞよろしくお願いします。（笑声）

議員（15番 平野 力範君） 答弁したんじゃない。これちょっとボラ協とは質が違う、話が違うんですよ。全く違う観点なんで、ちょっと町長、勘違いされているんじゃないかなと思いますし、またそれはぜひ副町長と勉強されてください。

終わります。

議長（成吉 暲奎君） じゃあ、その面は違った場所でもって協議してください。

御苦労さんでございました。

これで本定例会のすべての一般質問は終わります。

議長（成吉 暲奎君） 以上で本日の日程はすべて終了しました。

これで散会いたします。御苦労さまでございました。

午前11時16分散会